

# 令和4年度シラバス(国語)

学番56 新潟県立八海高等学校

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	大修館書店『新編 言語文化』				
副教材等	第一学習社『標準古典文法』				

## 1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。  
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 指導の重点

(1) 基本的な言語事項の修得を重視し、文学を始めとする我が国の言語文化に親しむ態度を育てます。  
 (2) 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。  
 (3) 自分の考えを的確に表現し、積極的に他者とコミュニケーションを図る態度を育てます。  
 (4) 自分なりの充実したノートが作らせることを目指します。

## 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・「話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通じて積極的に他者や社会関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

## 4 評価基準と評価方法

評価は次の観点から行います。

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・「話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通じて積極的に他者や社会関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験、式やグラフでの表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

## 5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価の方法
4	現1 ことばと出会う	4 「C 読むこと」	ドリアン助川「言葉の森を育てよう」 黛まどか「季節の言葉と出会う」	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。	a b	観察 ワークシート 小テスト
	現2 表現を味わう	4 「C 読むこと」	川上弘美「水かまきり」	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る ・オノマトペの表現効果をとらえる。 ・小説の感想文を書く。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
5	古1 古典に親しむ	5 「B 読むこと」	古典への招待 児のそら寝	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する ・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。	a b	観察 ワークシート 小テスト
	定期テスト				ab	テスト
	古2 随筆を楽しむ	4 「B 読むこと」	「徒然草」 奥山に猫またといふもの 神無月のころ	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
6	現3 文化を見つめる	4 「C 読むこと」	佐藤卓「ほどほどのデザイン」	・日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。	a b	観察 ワークシート
	漢1 漢文に親しむ	5 「B 読むこと」	訓読のきまり 格言	・漢文の訓読のきまりについて理解する。	a	観察
	定期テスト				ab	テスト

	古2 随筆を楽しむ	5 「B 読むこと」	「枕草子」 にくきもの	・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ・「にくきもの」というテーマで文を書く。	a b c	観察 ワークシート
9	現4 物語を受け継ぐ	4 「C 読むこと」	芥川龍之介「羅生門」	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。 ・感想文を書く。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
	古3 物語の広がり	5 「B 読むこと」	「伊勢物語」 芥川・筒井筒	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	a b	観察 ワークシート 小テスト
10	漢2 現代に生きること	4 「B 読むこと」	「守株」「五十歩百歩」 「蛇足」「借虎威」	・格言の意味について、考えを深める。 ・それぞれの話で語られている教訓の意義を理解する。	a b	観察 ワークシート 小テスト
	定期テスト				ab	テスト
	現5 ことばと生きる	4 「C 読むこと」	又吉直樹「祖母が笑うということ」	・文章の展開のしかたを的確にとらえ、筆者の考えを理解する。		観察 ワークシート
11	古4 旅への思い	4 「B 読むこと」	「土佐日記」	・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。	a b	
	漢3 古人に学ぶ	4 「B 読むこと」	「論語」	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。	a b	観察 ワークシート
12	定期テスト				ab	テスト
1	現6 近代文学に触れる	3 「A 書くこと」	夏目漱石「夢十夜」	・作品の状況設定を的確にとらえ、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。 ・感想文を書く。	a b c	観察 ワークシート 小テスト
2	古4 旅への思い	2 「A 書くこと」	「更級日記」 「おくの細道」	・文章の展開に即して作者の心情を読み取る。 ・文と句の関係に注意して、それぞれの句に詠まれた情景や心情を考える。 ・感想文を書く	a b c	観察 ワークシート 小テスト
	漢4 漢文を親しむ	4 「B 読むこと」	「完璧」	・音読を通して漢文訓読の口調に習熟する。	a b	観察 ワークシート
	定期テスト				ab	テスト

計 64時間(55分授業)

領域ごとの 授業時数合計	A 「書くこと」 5時間	B 「読むこと」(古典) 40時間	C 「読むこと」(現代文) 20時間
-----------------	-----------------	----------------------	-----------------------

## 6 課題・提出物等

- ・単元ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

## 7 担当者からの一言

「言語文化」は、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるための科目です。言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけていきましょう。